

FINAL



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)
分科会へのご案内 (会員による自主講座)

第18回 ヨハンナ・マルツィ (ハンガリー) 全4回 その4 放送局録音及びライブ録音 2(1959~1972) (34~48歳)

マルツィは1957-58年、60年、62-63年にアメリカ・ツアーを敢行し、著名指揮者との共演で大好評を博す。

その人気絶頂の最中、1959年のエディンバラ音楽祭では、ファシスト協力者として、チェコ・フィルから共演を拒否された。しかし、夫とは離婚をしておき、事実無根として事なきを得たが、世界中の新聞紙を賑わせた。

1960年(35歳)、富豪のチューディと再婚、後に一人娘を授かる。

この60年代、マルツィは常に第一線で演奏し続けたが、69年(44歳)でB型肝炎を患いながらも、76年(51歳)まで演奏活動を続けたという。

1979年チューリヒの病院で癌のため、54歳の生涯を閉じた。

英国クー・ダルシェ(COUP d'ARCHET)社からはマルツィの放送局録音集(初期から晩年まで)が発売されており、晩年の演奏を聴いてみましょう。



往年の女流
名ヴァイオリニストによる
演奏を聴く

演奏曲目

1. バッハ: ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調(指揮)オイゲン・ヨッフム(ライブ)
2. モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ 第40番 変ロ長調 (P)アントニエッティ
3. ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲 第3番 ハ短調
(P)イストヴァン・ハイデュ (vc)パウル・サボ
4. ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調「雨の歌」 (P)ハイデュ
お楽しみに!



今回が最終回です。
長期に亘り、ここまで来れましたのは、
皆様方のお陰です。
ありがとうございました。

日時 / 7月3日(日) 13:30~15:45
場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール
発表者 / 霜鳥 晃 シリーズ全18回
参加自由・入場無料

問い合わせ / 090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>